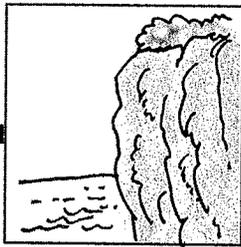
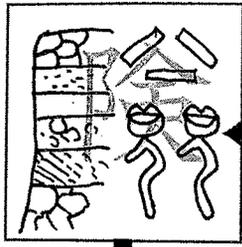


会意・形声

険

五年

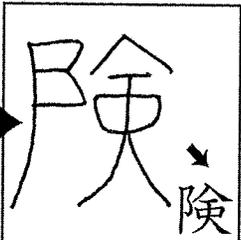
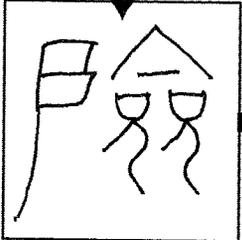
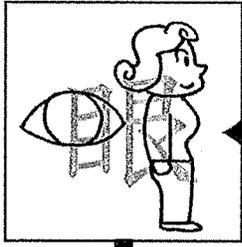
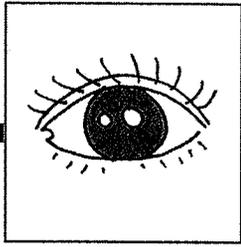



圖 11
冒ケン
脚けわシイ

会意・形声

眼

五年

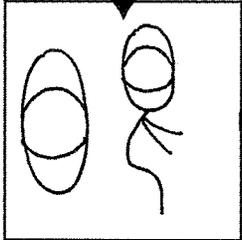
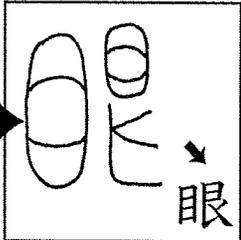



圖 11
冒カン・ゲン
脚まなこ

「人々が意見を述べ合い、その中から選ばれた意見」という意味の「兪」と、「崖」の形を表した「阝(こざとへん)」とを組み合わせた字です。「多くの崖のなかでも、特に崖らしい崖」という意味で、「険しい崖」を表します。今では、「険しい」という意味に使います。また、「あぶない」「顔がきつく、とげとげしい」という意味にも使われます。

熟語例
 危険Ⅱあぶないこと
 冒険Ⅱ危険をおかすこと

同時に覚えるとよい字
 「検」は「兪」と、「文書」を意味する木の「札」を表す「木」とを組み合わせた字です。「多くの文書をよく調べて、そのなかから正しい事実を選び出す」ことを表し、「調べる」という意味に使われます。熟語例Ⅱ検査、検診

「後ろを見る」形を表した「艮」と、「目」とを組み合わせた字です。「後ろを見る」とは「よく目を働かせる」ことを表したものです。「目」が単なる「目」という物」を表したものに對して、「眼」は「見る働きをもったものとしての目」を表しています。また、「大切な所」という意味にも使われます。

熟語例
 眼力Ⅱ物事を見通す力
 主眼Ⅱ物事のいちばん大切な所

同時に覚えるとよい字
 「退」は、「後ろを見る」形を表した「艮」と、「道を進む」意味を表した「辶」を組み合わせた字です。「後ろを見て道を進む」こと、つまり、「退く」ことを表しています。熟語例Ⅱ後退、引退